

平成22年度BSC年間評価シート

病院(所属)名: 経営管理課

	BSCの当初目標設定内容			22年度実績			評価・今後の対応
	業績評価指標	数値目標	主なアクションプラン	数値目標実績	アクションプラン実績	4段階評価	
顧客の視点	経常収支比率(税抜) 【病院事業全体】	97.7%	<ul style="list-style-type: none"> 未収金回収委託継続 未収金法的措置の検討 医薬品一元の継続・見直し 診療材料一元化の検討 委託業務一元化の検討・実施 	98.4%	<ul style="list-style-type: none"> 未収金回収委託の継続 未収金回収において困難案件に対する法的措置を実施 医薬品の契約、価格交渉の一元化を継続して実施 一元化を図った清掃業務委託の評価、改善に関する検討実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> 不納欠損処理の事務処理体制はほぼ構築できたが、未収金発生防止、回収の3病院共通のマニュアルの作成が課題。 医薬品購入の価格交渉、次年度契約に向けたプロポーザルによる業者選定により、医薬品の経費削減に取り組みしたが、診療材料購入一元化については次年度に持ち越しとなった。 清掃業務委託は、委託内容の品質確保について担当者会議を開催した。今後も継続してチェックをしていく必要がある。
	職員アンケート⑫ 「あなたの職場では、病院または職場の目標に向かって、具体的な改善の取り組みを進めていますか」 平均ポイント数 【3病院合計】	2.70	<ul style="list-style-type: none"> 職員アンケートの実施、病院運営への反映 3病院合同発表会の開催を検討 広報誌発行(年10回) 	2.62	<ul style="list-style-type: none"> 職員アンケート配布・回収(7/7~21)回収率67.8% 広報誌発行(第19号~第27号) 	B	<ul style="list-style-type: none"> 職員アンケートについては、事務局に対して結果を返し、事務局長会議で病院間の情報交換を行った。 合同発表会については、先進事例の調査を行い、実情把握に努める必要がある。 広報誌については、概ね計画を達成した。内容については、経営改善やBSCの推進などの経営課題に応じたものとする必要がある。
	医師充足率 【3病院合計】	100.0%	<ul style="list-style-type: none"> 大学病院等からの指導教員派遣 専攻医受入れ 大学病院等での専門医師の短期研修実施 医療秘書の配置および診断書電子化ソフト導入 女性医師が働きやすい環境づくりの検討 	86.5%	<ul style="list-style-type: none"> 精神科医師の公募 成人病センターの欠員補充 大学病院との連携による専攻医の受入 院内保育所増築工事 	B	<ul style="list-style-type: none"> 公募は実施しているが、まだ応募効果は出していない。今後、公募期間の弾力的な運用を図ることとした。 関係大学と連携を深め、医師派遣の要請を行うことで、派遣医師数の増加(欠員の解消)を見ている。 院内保育所増築により、次年度からの1,2歳児の受入体制の拡充が図られた。
	看護師確保率 【3病院合計】	100.0%	<ul style="list-style-type: none"> 中堅看護師向け研修の実施 先進病院等への派遣研修の実施 認定看護師、専門看護師等育成支援の充実・検討 	100.0%	<ul style="list-style-type: none"> 看護師確保対策のアドバイザー委嘱、教育方針等検討 看護協会主催の再就職支援講習会への協力、実習受入 看護師養成校への講師派遣、実習受入を積極的に提案 近隣府県で開催される病院説明会への参加 	A	<ul style="list-style-type: none"> 看護師の再就職支援講習会への講師派遣、実習受入により、今後の看護師募集に対して応募が期待される。 講師派遣や実習受入を積極的に進めたこともあり、おおむね予定通り看護師を確保することができた。 精神医療センターの医療観察法病棟開設にかかる看護師確保も進めていく必要がある。
	職員アンケート⑬ 「あなたの病院は、職員教育、人材育成に力を入れていると思いますか」 平均ポイント 【3病院合計】	2.70	<ul style="list-style-type: none"> 研修計画の策定 3病院交流研修の試行 専門資格取得に向けた支援策の検討、実施 	2.68	<ul style="list-style-type: none"> 看護職員の教育方針等を体系化 看護師の新人教育について3病院合同の研修を行うためのプログラム作成 看護師の主査級の3病院交流研修に加え、新たに師長級交流研修を実施 緊急臨床検査士の資格取得への助成金創設 	B	<ul style="list-style-type: none"> 病院事業庁としての看護理念、看護職員の教育理念、基本方針、教育目的を体系化した。今後、専門看護師等スペシャリストを目指す職員に対しても効果的な研修を実施する。 資格取得後の支援について給与制度と合わせた検討が今後課題となる。

	BSCの当初目標設定内容			22年度実績			評価・今後の対応
	業績評価指標	数値目標	主なアクションプラン	数値目標実績	アクションプラン実績	4段階評価	
	職員アンケート⑨ 「あなたの病院は、将来展望(ビジョン)が明らかになっていて、職員間で共有できていると思いますか」 平均ポイント 【3病院合計】	2.20	<ul style="list-style-type: none"> ・病院専門職員の採用実施 ・業績評価シュミレーションの実施・問題点の整理 ・BSCの運用用法の見直し ・電子カルテ導入 	2.18	<ul style="list-style-type: none"> ・病院事業庁独自採用職として、臨床心理士の採用選考実施 ・看護師の新教育プログラムの策定、師長級交流研修新設 ・経営管理課への看護師配置、病院間の人事異動 ・平成21年度BSCの年度末評価を実施 ・電子カルテ平成23年1月導入。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床心理士の採用は応募者がなく、採用に至らなかった。 ・中期計画の進捗状況について、自己評価と外部評価を計画どおり実施。 ・電子カルテの導入・運用について、定例会を開催して検討を進めた。平成23年度においては、地域医療機関とのネットワーク化を進めるとともに、マスタープランの作成を検討する。
財務の視点	事務的経費の削減率 (対前年度実績) 【経営管理課のみ】	△ 3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・経費の執行状況の周知 ・会議資料等の効率化 ・IT機器の未使用時の電源OFFの徹底 	7.9	<ul style="list-style-type: none"> ・経費の執行状況の周知 ・IT機器の電源OFFの啓発 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・月毎の執行状況をとりまとめのうえ、課内回覧を行っている。 ・IT機器の電源OFFについては、離席時の蓋閉じ等の啓発を行う。 ・日常のコピー枚数は対前年度実績と比べ減少した。 ・本年度については、先進事例視察のため旅費交通費が増加し
内部プロセスの視点	時間外勤務時間数 (人・月) 【経営管理課のみ】	40時間	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人ひとりの日常業務の見直し、改善 ・会議時間の厳守など、開催方法の改善 ・IT研修等の受講、伝達研修の実施 ・非常勤職員の活用 ・課内定例会議の有効活用 	36時間	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤職員の活用 ・時間外勤務の迅速な把握の徹底、時間外勤務限度時間を超える職員に対するヒアリング等を実施した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・36協定の内容に沿って時間外勤務の適正な管理を実施していく。
学習と成長の視点	職員アンケート② 「今の仕事を通じて、プロとしての自分の能力が向上していると思いますか」 平均ポイント 【経営管理課のみ】	2.80	<ul style="list-style-type: none"> ・病院経営に関する研修会への参加 ・先進病院等の調査の実施 ・BSCに関する研修会への参加 ・OJTの推進 	3.00	<ul style="list-style-type: none"> ・病院経営や、人材育成、経営戦略をテーマにした各種研修会へ参加(8件のべ9名) ・決算状況や未収金徴収対策等について、各都道府県に照会調査を実施(3件) ・先進地視察(3件) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・会計・経理、人材育成等のテーマで、入門コースから事業庁が抱える課題等をテーマにした研修まで、幅広く参加。